

「栃木県南地域における水道水源確保に関する検討報告書」の概要

総合政策部 保健福祉部 県土整備部

1 栃木県南地域の水道水源の現状

- (1) 県南地域における地下水依存率は高く、栃木市をはじめとする 2 市 2 町は全量を地下水のみに依存しており、地下水の代替水源としての表流水を全く有していない。
- (2) 県南地域においては、地盤沈下や地下水汚染が危惧されており、水道水源を地下水のみに依存し続けることは望ましくない。
- (3) 異常気象による渇水リスクが高まる中、県南地域には水道水源として利用できる水資源開発施設がない。
- (4) 水資源開発には相当な期間を必要とすることから、長期的な展望に立って、事前対策を講じていく必要がある。

2 栃木県南地域における水道水源確保の方針

○基本方針

県南地域において、将来にわたり安全な水道水の安定供給を確保するため、地下水から表流水への一部転換を促進し、地下水と表流水のバランスを確保することとする。

- (1) 対 象 区 域 : 栃木市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町の
2 市 3 町
- (2) 目 標 年 度 : 平成 4 2 年度
- (3) 水 需 要 予 測 : 計画一日最大給水量 9 6, 2 0 0 m³/日
: 計画一日最大取水量 1 0 0, 0 0 0 m³/日
- (4) 地下水依存率の目標 : 基本目標 4 0 %
: 中間目標 6 5 % (目標年度に達成する水準)
- (5) 地下水の最大取水量の目標 : 6 5, 0 0 0 m³/日
(計画一日最大取水量の 6 5 % に相当する量)